

うさぎを飼っています

飄

々

広報委員

藤村 智之

わが家には3年前の1月から一匹のメスのうさぎがいます。

卯年生まれの娘が「うさぎを飼いたい！自分で世話をするから」との懇願に負けて、下松市のペットショップで買いました。ネザーランドドワーフ（オランダウサギ）、毛の色はオレンジです。誕生日を11月11日に勝手に決めました。娘が「きなこ」と名付けました。

まん丸で赤くて愛くるしい目をしていて、短めの耳がぴーんとして、毛がふわふわしてとにかく可愛いです。

初めこそ、張り切って世話をしていた娘ですが、今は専ら私と妻が交代で世話をしています。

毎朝、トイレ掃除（うさぎは決まった場所ですうんちとおしっこをします。これは躰ではなく、本能だそうです）と、餌やり。うさぎのフードにはまずペレットという、干し草を小豆大に固めた固形物と、ティモシーという干し草、あとはペレットに似た長細いサプリメント、それからパイナップルやマンゴーなどのフルーツを乾燥させて作られた固形のおやつなどを与えます。中でも、フルーツはきなこの大好物で、前脚を私たちの膝にのせてせがみます。

うさぎは常に鼻をヒクヒクさせています。これは、健康なうさぎの正常な行動で、うさぎは鼻呼吸しているためと、優れた嗅覚を使って周囲の情報を集めるためだそうです。うさぎは全く鳴きませんが、たまにブ、ブと小さく鼻を鳴らすことがあります。これは嬉しいという感情表現だそうです。うさぎの最大の特徴は長い耳です。耳が垂れた種類もありますが、ほとんどがまっすぐ立っています。耳はレーダーの役目をし、よく動きます。うさぎの耳は皮膚が薄くて、血管が通っていて体

温の上昇を防ぐ役割もあるそうです。耳が立っている時は、警戒している時。耳を後ろに倒している時は、眠い時又は眠っている時です。リラックスしているように見えます。

3年経ちましたが、人間で言う30～40歳だそうです。昨年動物病院で去勢手術をして、卵巣を摘出していますので、妊娠はできませんが、手術前は、偽妊娠による営巣行動といって、干し草を口に頬張って一か所に集めたり、口に咥えて首を盛んに振ったりしていました。

小さい頃からうさぎがひとりぼっちで可哀想だなと思っていましたが、本人は寂しくもないようです。むしろ私たち家族が揃っている時の方が、安心するようです。

うさぎの寿命は5年から8年です。あと3、4年かと思うとこれまた寂しくなりますが、ペットとの別れは仕方のないことです。「来世は人間に生まれて来いよ」ときなこにいつも言い聞かせています。仕草がいつも可愛くて、家族皆きなこに毎日癒されまくっています。

